



今年の梅雨は、梅雨寒があり、蒸し暑さはあまり感じずに来ていますが、愛知池西の田んぼでオオヨシキリ、セッカ、ヒバリの声が聞こえ、この一月で植物の様子は大きく変わっています。今日はネムノキやアカメヤナギの見られる場所まで、片道2kmほどを歩き良い汗を掻き少し日焼けしました。



アカメガシワ
柑橘系の爽やかな香りをただよわせてきました。雄花のおしべが丸く広がっています。パイオニア植物で、空き地ができると真っ先に生えてきます。



コナスビ
名前から、ナスの仲間かと思うとサクラソウ科オカトラノオ属の植物。ナスの花は花びらが花びらが分かれませんがこちらは5弁花です。葉にはまばらに軟毛が生えています。



シロコブゾウムシ
体長15mm。こぶ状の突起があり、刺激すると脚を縮めてポロリと落ちてしまいます。マメ科植物を食べます。



トウカイコモウセンゴケ
水が表層を流れていない場所に多い、湿地性の食虫植物。



ワルナスビ
ナスの仲間。花がナスにそっくりです。葉や茎に長い棘があるので気をつけたいといけない。多年草で、繁殖力が強い。北アメリカ産。



サトキマダラヒカゲ 林の周辺を飛び回り、樹液に来るジャノメチョウの仲間。幼虫はササの葉を食べます。



ナガコガネグモ 隠れ帯で、紡錘形のクモの子どもが網の向こうにいます。

バッタの仲間の幼虫 左から、ショウリョウバッタモドキ、ホシササキリ、ツユムシ、トノサマバッタ



ドブガイの一種 土手に白いものが落ちていたので気づきました。貝の真珠層が見えたのです。水位が下がった池から、カラスがとってきて食べたのでしょう。



ヒメジヨン ハルジ

オンに代わって道端を彩っています。共に北アメリカ原産です。一株で何万という種を飛散させて増えています。



キマダラセセリ

胴体が太いセセリチョウの仲間、林の縁や川原などで見られます。幼虫はススキ、ネザサなどを食べます。



マユタテアカネ

赤とんぼの仲間、羽化後間もない雄です。複眼の下に眉のような黒紋があります。餌を食べて成熟すると赤くなります。



オオクチキムシ 体長15^{ミリ}。脚が長く逃げ足が速い。

植物 アカツメクサ、ヤグルマギク、ムラサキツユクサ、アリストロメリア、キバナノマツバニンジン、ニガナ、チガヤ種が飛ぶ、コマツナギ、コモチマネングサ、ネジバナ、アメリカフウロ、ヤブジラミ実、タチカタバミ、ニワゼキショウ、ムラサキカタバミ、オニタビラコ、コナスビ、ハナハマセンブリ、コメツブウマゴヤシ、ヒメジヨン咲きそろ、ナガバギシギシ実、アリアケスミレ実、(トウカイコモウセンゴケ咲く)、アオカモジグサ実(芒が反り返る)、コヌカグサ、ヌカススキ、ススキ・オギ、カラスウリ広がる、アメリカネナシカズラ、ガクアジサイ、アオツツラフジ、アカメガシワ、イソノキ、ネズミモチ、クチナシ、サカキ、ノイバラ、セイヨウニンジンボク、モッコク蕾、ニセアカシア実、クリ実、ヤマハゼ実、イボタ実、シラカシ実、アズキナシ実、カキ実、センダン実、ヤマモモ実熟し始める、**昆虫・クモ** モンシロチョウ、キタキチョウ、ヒメアカタテハ、ツバメシジミ、ベニシジミ、ムラサキシジミ、ナミアゲハ、サトキマダラヒカゲ、コムラサキ、キマダラセセリ、ダイミョウセセリ幼虫、カノコガ、ベニスジコケガ、シバツトガ、カシワマイマイ幼虫、ヨモギエダシヤク幼虫、マユタテアカネ、シオカラトンボ、ハラビロトンボ、コシアキトンボ、ツチイナゴ、バッタ類幼虫(ショウリョウバッタモドキ、ホシササキリ、ツユムシ、トノサマバッタ)、コフキゾウムシ、シロコブゾウムシ、オオクチキムシ(ゴミムシダマシ科)、カナブン死体、ナナホシテントウ、ナミテントウ、ハゼアブラムシ・アミメアリ、ウメマツオオアリ、クロヤマアリ、セグロアシナガバチ、オオスズメバチ、シロオビアワフキ終齢幼虫、ナミハナアブ、ホソヒラタアブ、チュウレンジバチ、キムネクマバチ、(クモ)ヤマシロオニグモ、アシナガグモ、チュウガタシロカネグモ、ササグモ、サツマノミダマシ、シロカネイソウロウグモ、マルゴミグモ、アサヒエビグモ、ワシグモ類、イオウイロハシリグモ幼体、コクサグモ幼体、ジョロウグモ幼体、ナガコガネグモ幼体、**鳥・その他** シジウカラ、エナガ、キビタキ、ツバメ、ウグイス声、ヒヨドリ声、ホオジロ声、カワラヒワ声、カワウ、カイツブリ声、カルガモ、カナヘビ、ドブガイの一種殻、(茸)スミレウロコタケ、不明1

次回は7月11日(木)、午前9時30分～12時、水資源機構P前集合、参加費100円